


第1回報告

<p>テーマ</p>	<p>「開かれた総合センターをめざして」 ～総合センターの役割について考える～</p>	
<p>日時</p>	<p>平成26年6月24日（火曜日） 午前10時から11時30分まで</p>	
<p>場所</p>	<p>尼崎市立南武庫之荘総合センター</p>	
<p>講師</p>	<p>尼崎市南武庫之荘総合センター所長 三澤 雅俊さん</p>	
<p>参加者</p>	<p>24名</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>じんけんスタディツアーの出発式とともに、総合センター（隣保館）についての理解を深め、「福祉と人権のまちづくりに向けた開かれたコミュニティセンター」としての現在の役割等について考えることを目的に実施しました。</p>	
<p>実施内容</p>	<p>初めに、隣保館の歴史を解説しました。隣保館は、貧民救済のためにイギリスで起こったセツルメント運動から始まり、同和問題解決のための拠点施設として同和関連法時代の目的や役割、また、法失効以降、地域社会全体の中で住民交流の拠点となるべく「福祉と人権のまちづくりに向けた開かれたコミュニティセンター」としてのあらゆる人権問題の解決に向けた現在の役割などわかりやすくご説明していただきました。</p> <p>そして最後に、平成27年4月から尼崎市立総合センターにおいて導入される指定管理者制度について触れ、これまでの総合センターの事業や役割を引き継ぎながら、地域に密着した施設であるとともに、より一層発展し、市民に開かれた総合センターになることを期待していると締めくくられました。</p>	
<p>参加者からの感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師がおだやかで謙虚な話し方でわかりやすかった。 ・ 話が具体的で隣保館等の歴史の流れがよくわかった。 ・ 隣保館の歴史が知れて良かった。 ・ 年間を通じて事業の総論として適切であった。また、総合センターの過去・現在・未来について、広い視野から足元を見直す内容であった。「今後の課題」がメインテ 	

	<p>ーマであったことも良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマにふさわしい臨場感があった。 ・ 時間が少し長いと思った。 ・ 歴史のことから現在の状況、また今後の事業についてよくわかった。 ・ 時間に余裕のある限り「じんけんスタディツアー」に参加させていただきたい。 ・ 情報提供としていただいたチラシの講演会にも参加したいと思いました。 ・ 隣保館のことについて新たに知ることができた。「地域住民にPRしていかないといけない!」ということに共感を持ちました。 ・ たくさんの方にとって総合センターが必要だと思ってもらえるようにしたい。
<p>成果と課題</p>	<p>事業の開催から、隣保館は、「人権啓発」「地域福祉」「住民交流」の拠点施設であり、さらに発展を遂げていく必要があることが明確となりました。そのために、隣保館の役割をこれまで以上に市民に発信し、開かれたコミュニティセンターとして利用促進を図るなど、取り組みを進めていくことを認識しました。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎市職員研修としても位置づけ実施しました。